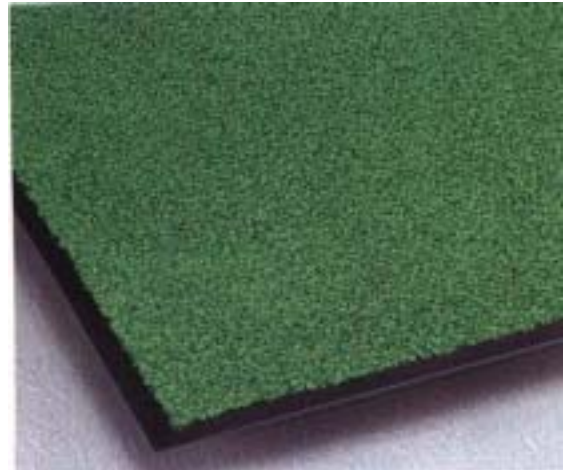


	サイズ
EA997RH-81	450X750mm
EA997RH-82	600X900mm
EA997RH-83	750X900mm
EA997RH-84	900X1200mm
EA997RH-85	900X1500mm
EA997RH-86	900X1800mm
(玄関マット)	

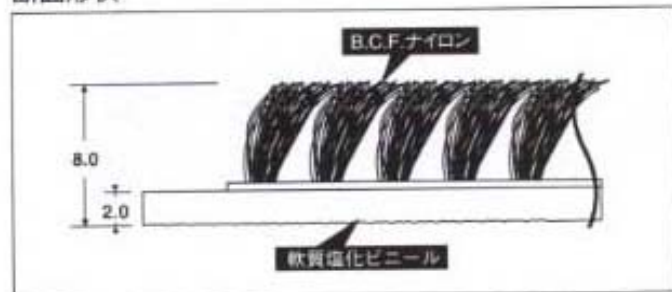
- スタンダードな繊維マット
- 裏面は水分を通しません。
- 色 グリーン
- 材質 表面、内部:ナイロン 100%
裏面:軟質塩化ビニール
- 厚さ 8.0mm (パイル6.0mm、ヘ-ス2.0mm)
- 1m²重量 約3.4kg



表面形状



断面形状



(参考資料)

繊維

ナイロン (PA:ポリアミド)

他の合成繊維に比べ摩耗性、折曲げに強く、耐油性に優れ、しなやかな感触を持っていることが大きな特長。染色しやすく、近年では新しい素材開発が盛んに行われている。さまざまな形や太さのものをつくることが可能です。

再生ポリエステル

ポリエステル(樹脂、繊維)製の商品・製品を一度形を変え、溶融して、再び繊維の形に直したものを、ヤング率(引っ張りまたは圧縮応力とその方向における変みとの比)が大きく、優れた熱可塑性を持ち、ナイロン並みの強度がある。

B.C.F.ナイロン

かさ高く(ふんわりした感じ)連続したナイロンの長繊維。
※B.C.F.はバー・コンティニュアス・フィラメント(ファイバー)の略

ナイロンモノフィラメント

ナイロンで1本の連続した極めて長い繊維。糸または、わずかな断りでありながら用いられ、紡績糸より滑らか。人造繊維では紡糸(原料を溶かし水あめ状になったものを、ノズル孔から押しだし繊維化されたもの)したままの1本の長い繊維をいう。

ポリエステル

化学繊維の中で一番多量に生産されている。ヤング率(引っ張りまたは圧縮応力とその方向における変みとの比)が大きく、熱可塑性があり、吸湿性が少なく、酸やアルカリに強い特長がある。吸湿性が少ないので、濡れても強さが変わらない。また、腐物の場合しわになりにくい。フィラメント(連続した極めて長い繊維)はそのままでも製品として使えるが、自動的に応じて円形や三角形、扁平、中空などの多種多様な断面をした繊維がつくられる。さらに、絹の10分の1から100分の1の細さという超微細繊維がつくられたり、かさ高加工が施されたり、用途によってさまざまな使い方がある。

(参考資料)

樹脂

EVA樹脂

エチレン・酢酸ビニル共重合樹脂とも呼ばれる。エチレンと酢酸ビニルの比率を変えることによって樹脂の性質を変えることができる。酢酸ビニルの含有量を多くすると、樹脂が軟らかくなる傾向がある。

ウレタンスポンジ

ウレタンフォームと同義語。ウレタンに空気を均一に混入させて泡状物としたもの。非常に強く吸水性があり、化学物質や多くの溶剤に抵抗がある。軽く耐老化性にも優れ、虫害もない。

SBR(スチレンゴム)

SBRのことをスチレンブタジエンゴムともいう。合成ゴムのひとつで、価格が安いため車のタイヤなど様々なものに使われる。

SBRエンボスフォーム

SBRの発泡体を用いた形状加工法のひとつで、エンボス(凹凸の模様)をつけたもの。人工芝等の裏地に使われる。

SBRコーティング

SBRでつくった塗膜。SBRをマットの裏面などに「被覆すること」で、水などによる浸水性等をカバーする。

エチレン

EVA、ポリエチレン、ポリスチレン、エタノール、合成ゴム、塩化ビニル等の原料であり、石油化学工業で重合することによって色々な樹脂や溶剤、洗剤、香料、塗料、医薬品、接着剤等のもとになる物質である。

EPDM(エチレン・プロピレンゴム)

エチレンとプロピレンを共重合したもので、合成ゴムのひとつ。ゴム状弾性体(合成ゴム)として有用な性質をもち、熱安定性、耐老化性、耐候性、耐薬品性、耐油性等に優れたもの。合成ゴムとしては高級品。

NBR(ニトリルゴム)

合成ゴム的一种。アクリルニトリルとブタジエンを乳化共重合させたもの。耐油性が要求される用途に用いられる。アクリルニトリル含量が多くなるにつれ耐油性や耐油性が向上する。反面、耐寒性が低下する。

塩化ビニル(PVC)

ポリ塩化ビニル、塩ビ、PVC、ビニールともいう。塩化ビニルは、硬質塩化ビニールと、軟質塩化ビニールに分類され、汎用樹脂では最も消費量の多い樹脂である。機械的強度に優れ、耐候性、電気絶縁性、耐酸、耐アルカリ性、耐水性にも優れる。透明なため着色が容易で加工もしやすい。

塩ビ発泡

塩化ビニルに空気を均一に混入させて泡状物としたもの。発泡の割合により、本来の塩ビの重量よりも数倍軽く、しなやかにさせることが可能で、クッション性に富む。

高密度ポリエチレン(HDPE)

高密度ポリエチレンは密度が0.96(g/cm³)以上のポリエチレンで、ポリエチレンの中では最も硬く、耐熱性、耐油性、耐薬品性、表面滑り性が良い樹脂である。この樹脂は、硬いが低温でも割れにくい。衝撃強度を要求される場合はこの樹脂がよく使用される。射出成形、押出し成形、ブロー成形が多い。

ナイロン(PA)

ポリアミドともいい、大部分は繊維として使用されるが、エンジニアリングプラスチックとしても使用。耐熱性、耐油性、耐薬品性に優れ、吸水性もある。耐久力のある樹脂で、常に安定した性能を発揮する。

軟質塩化ビニル(PVC)

塩化ビニルと可塑剤からなる。柔軟性があるので用途は広く、使い勝手もよい。

ポリエステル

優れた熱可塑性を持ち、ナイロン並みの強度がある樹脂です。一般の酸(酸化性酸を除く酸)には強いが、アルカリに弱い。耐候性、耐摩耗性に優れる。

ポリエチレン(PE)

エチレンの重合物で熱可塑性樹脂。水より軽く、耐水性、電気絶縁性、耐酸性、耐アルカリ性に優れている。製品自体に直接印刷したり着色したりするのに適さず、代わりに接着法を用いる。ポリエチレンを大きく分類すると、①高密度ポリエチレン ②低密度ポリエチレン ③直鎖状低密度ポリエチレン ④中低密度ポリエチレンに整理される。

ポリプロピレン(PP)

耐熱性、非吸湿性、耐薬品性、電気特性に富む素材。プラスチックの中で一番軽い。比較的安価。